

9月の行事予定

生活目標

落ち着いて学習に取り組もう

1	木	B 時程 始業式	16	金	ピッピのおはなし会 (1-2, 1-1, 2-2) 海の落語プロジェクト (5 年)
2	金	給食始 5 時間授業	17	土	B 時程 土曜授業 学校公開 道徳授業地区公開講座
3	土		18	日	
4	日		19	月	敬老の日
5	月	委員会活動 身体計測 (5, 6 年)	20	火	
6	火	身体計測 (3, 4 年, か)	21	水	夏休み作品展終 午前授業 (校内研究授業 のため、かしのみ (一部) のみ 5 校時終了後下校)
7	水	身体計測 (1, 2 年)	22	木	遠足 (1, 2 年)
8	木	安全指導 夏休み作品展始 パルクール (3 年)	23	金	秋分の日
9	金	避難訓練 (不審者対応)	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	会場設営 (6 年) クラブ
12	月	理科出前授業 (6 年)	27	火	教職専門実習 (か) 終
13	火	教職専門実習 (か) 始	28	水	
14	水		29	木	読み聞かせ
15	木	C 時程 にっこりタイム 繭の糸取り体 験 (3 年) ピッピのおはなし会 (2-1, 2-3)	30	金	座高円寺 (4 年)

※17日(土)学校公開の際、「夏休み作品展」を鑑賞することができます。2階第2校舎渡り廊下に展示しています。子供たちの素晴らしい作品をどうぞご覧ください。

6年弓ヶ浜移動教室

7月13日(水)から15日(金)に、6年生は伊豆の弓ヶ浜へ移動教室に行ってきました。昨年までは5・6年合同での参加でしたが、今年からは5年生は富士学園へ、6年生は弓ヶ浜へとそれぞれ別々での参加となりました。

初日はあいにくの天気です。体育館での出発式となりましたが、バスで移動していくうちに回復し、最初の目的地『三津シーパラダイス』についた時にはとても良い天気となりました。以降、3日目こそ雨となりましたが、当初の予定通りの行程を進めることができました。

三津シーパラダイスでは様々な海の生き物を見学しました。イルカショーなどでは大きな拍手を送っていました。宿舎に着き、お風呂、夕食の後、夜はレク係が中心となり、レク大会で盛り上がりました。

2日目の午前中は磯観察。現地のダイバー「キャプテン」こと堀さんの指導のもと、たくさんの海の生き物と触れ合いました。最初は恐る恐る触ってみる子が多かったのですが、慣れてくるとなんなく捕まえる児童がたくさんいました。お昼ごはんのあとはバス移動で下田散策です。了仙寺ではペリー来航時の貴重なお話やたくさんの資料を住職さんのお話を交えながら紹介して頂きました。その後歩いてペリー上陸の地まで見学に行きました。潮の香りを感じながら、港町・歴史の街の雰囲気を楽しむことができました。

3日目は宿舎に別れを告げ『伊豆シャボテン公園』へ。雨の中でしたが、その分空いていてゆとりをもって見学することができました。名物のソフトクリームはとても美味しかったです。

6年生にとって昨年の富士学園に続き2度目の移動教室でしたが、とても立派だったのは大人から言われなくても時間をきちんと守って行動していたことです。班長を中心に全員が意識して行動していた姿はまさに最高学年にふさわしい姿でした。2学期からも最高学年らしい姿を期待しています。(6年担任 佐藤 友是)



★済美小学校ホームページ公開中!★★★

済美小学校の教育活動について、ホームページ「学校の様子」で公開しています。右のQRコードを読み取りご覧ください。



学校だより



せいび

令和4年9月1日
杉並区立済美小学校
校長 難波 誠二

…済美小学校の大事なひとりになろう…

〒166-0013 杉並区堀ノ内1-17-24 TEL 03-3313-2364 FAX 03-3313-8634

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibishou/>

自然体験から育つ感性

校長 難波誠二



今年の夏は猛暑と共に記録的な豪雨が続き、「命にかかわる」「これまでに経験したことのない」という言葉を毎週のように耳にし、各地の被害状況に心を痛めました。温暖化による異常気象でしょうか。地球規模の環境の変化に強い不安を感じる夏でした。また、3年ぶりに今年は行動制限のない夏休みになりましたが、コロナウイルスの感染者数が減る様子はなく、不安を抱えながら過ごしたご家庭も多かったことと思います。今日から2学期がスタートします。1学期同様、熱中症や感染症へ対策を十分にとりながら教育活動の充実を図って参ります。

さて、夏になると校舎裏の地面には、たくさんの人差し指大の穴が現れ、その周辺の木の幹を目で追っていくと、そこにはセミの抜け殻をいくつも発見することができます。数年間、地中で過ごしたセミの幼虫がいよいよ地上に現れ、誰にも見られることなくこの場所で神秘的な羽化を繰り返したのでしょう。数時間前まで地中で暮らしていた幼虫が透き通るような淡いグリーン色の姿に変わり、この場所から空へ飛び立って行ったのかと思うと何とも生命の神秘さを感じずにはられません。私は幼いころから虫が好きでしたので、セミの合唱を聞くと夏休みに兄と一緒に自宅前の神社で一日中セミ取りに夢中になったことを思い出します。手の中でジージーと鳴き、羽をばたつかせるあの感触は、幼い私にとって生き物の命の力強さを感じた貴重な体験でした。

1学期末の7月14日には、3年生がNPO法人すぎなみ環境ネットワークの皆さんのサポートで済美小近隣の都立和田堀公園、善福寺川の自然観察会を行いました。学区域の豊かな自然を子供たちに体感してほしいと学校支援本部の元PTA会長日吉朋子さんから声かけいただき、季節ごとに自然観察会を計画したその第1回目です。子供たちはグループに分かれ、自然豊かな公園を探索し、たくさんの生き物を見つけ、ネットワークの皆さんから生き物のお話を聞くことができました。中にはカブトムシを発見したグループもあり、この周辺の雑木林にカブトムシの姿が戻ってきていることを教えてもらいました。インターネットから最新の知識を得ることができる時代ですが、五感を伴った本物の自然と触れ合う体験は、好奇心を育み、感動を知り、豊かな感受性の発達を促します。子供たちにとって何物にも変えられない一生の貴重な経験になるはずです。実際、3年生の子供たちは1学期に一人一人がカイコガを育てる経験をしました。不思議なことに虫が苦手な子供たちも毎日その成長を観察することで一匹の昆虫に愛着をもつようになっていきます。生命の大切さを知る貴重な学びです。



また、今、体育館脇のプランターと東昇降口横の花壇には、小さなかawaiiい紅色の花「千日紅」が咲き誇っています。この夏休みに妙法寺門前通り商店街の千日紅繁和会の皆様（代表山田重子さん）に植栽していただきました。ここ数年毎年植栽していただき、済美小の子供たちにとって夏から秋を彩るなじみの花になっています。「千日紅」は10月頃まで次々に花を咲かせ「バタフライガーデン」として、シジミチョウやアゲハチョウなど様々な生き物の憩いの場所になります。

済美小周辺は、区内でも自然が豊かに残る貴重な場所です。本校ではこれからも子供たちが四季を肌で感じながら、草花や小さな生き物に触れる自然体験を大事にし、神秘さや不思議さに目を見はる感性（センス・オブ・ワンダー）をもち続けさせたいと考えています。